

令和6年羽島市長選挙 立候補者アンケート

牧 義仁 氏 アンケートのご回答

1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々な市民活動団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、羽島市のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい

いいえ

その他

私の考えでは、羽島市は計画性をもって大規模な開発を行っていく構想を立てていますので、現状のより良いまちづくりに対しての市民活動団体（NPO）への期待というよりも「羽島市が発展した後」に市民活動団体（NPO）の方々と、どのような新しいまちづくりが可能であるのか？を状況により判断していきたいと考えます。その為、現在の羽島市が市民活動団体（NPO）と、どのような関係性であるかを、まずはしっかりと把握したいと考えます。

2) NPOへの活動支援施策について(300字以内)

羽島市では、市民活動団体の登録団体募集と団体紹介などをNPO等への活動支援施策として行っております。岐阜県内自治体では、市民活動団体を主な対象としてまちづくり活動への助成などが行われている所があります。羽島市では、NPO等の活動をより推進していくために、活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は補助金やそれ以外にお考えの施策がありましたら、具体的にお答えください。

はい

いいえ

その他

羽島市にとって市民活動団体（NPO）の存在が、「市民の方にとって重要」なものであるのであれば支援策は必要だと考えます。しかし、現状の市の財政の中で、限りある活動を推進していくような規模であるならば、「羽島市が発展を結果にした後」に、すべての市民活動団体（NPO）の方々としっかりと議論を行い、方向性をもって支援策を検討することが必要だと考えます。その為、現在の羽島市が市民活動団体（NPO）と、どのような関係性であるかを、まずはしっかりと把握したいと考えます。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

「羽島市みらい共創プラン 基本構想(案)」では、「持続可能なまちづくりを支える考え方 (1)多様な主体との協働・共創」において、NPO活動などを支援し、協働・共創によるまちづくりの推進が書かれています。今後も羽島市とNPO等が協働関係を築き、NPO等との協働関係の構築・発展を進めていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用するためにお考えの施策等がありましたら、お答えください。

はい

・

いいえ

・

その他

私の考えでは、今後、羽島市の人口の増加、税収の増加を一番に考えていますので、人口の増加にともない様々な問題が起こるのは当たり前だと考えます。その為、市民活動団体（NPO）の方々との協働関係の構築は必要不可欠となると思います。現段階では、まずは羽島市自体の発展をのぞむことが最優先だと考えます。その為、現在の羽島市が市民活動団体（NPO）と、どのような関係性であるかを、まずはしっかりと把握したいと考えます。

ご協力ありがとうございました。